

# 平和を知る入り口

糸満の成り立ち、戦時中の記録、そして戦後復興。糸満の歴史をたどれるシャボン玉石けんくくる糸満の常設展示室。その魅力を島袋館長へ伺いました。



シャボン玉石けんくくる糸満  
館長 島袋 裕也さん

この常設展示室では、糸満市の多種多様な文化を紹介しています。海人文化や農業、城跡、旧暦行事、伝統文化に加え沖縄戦や平和、戦後復興のあゆみについても、体験型の展示や映像シアターを通して紹介しています。さまざまな展示を通して、まずは糸満市のことを、広く知っていただくための場所です。

常設展示室で大切にしているのは、「暮らし」という視点です。専門の平和資料館は戦争について詳しく学ぶことができます。一方で、この常設展示室では、糸満で暮らす人々がどのように生活していたのか、戦争によってその暮らしがどのように変わっていったのか、戦争という出来事だけでなく、それぞれの時代を生きた人々の日常や

営みにも目を向けてもらえる展示になっています。

代の空気や暮らしを感じることもできます。

戦後、糸満の人々はたくましく生活を立て直していきました。今も当時の復興の歩みを誇りに語るおじやおばが暮らしていて、そうした記憶や想いも、この展示を通して感じてもらえればと思います。戦争を経て暮らしがどのように変わり、立ち直っていったのか。その流れを、糸満の成り立ちから続けて見ることができます。展示では映像も流しています。戦争を体験した人々の証言映像のほかにも、当時の写真・資料などを通して、その時

展示のコンセプトは「糸満を広く知る入り口」です。展示室だけで完結するのではなく、来館した人が何かに興味を持ち、実際にその場所へ足を運ぶきっかけになってほしいと思っています。来館後に「もっと詳しく知りたくなりました」と話してくださる人も増えています。6月23日、慰霊の日を前に、糸満のことを知るスタートとして、改めて平和について考え、学ぶ機会にするため、常設展示室へ、ぜひ一度足を運んでいただけたら嬉しいです。



## シャボン玉石けんくくる糸満

- ▶ 場所 潮崎町1丁目1番2
- ▶ 常設展示見学時間 9時～17時(入場無料)



常設展示の詳細などはHPへ。